

こんにちは

日本共産党杉並区議会議員

酒井まさえ

です



2021年6月17日 No.93 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

コロナ禍の今こそ 暮らしへの支援強化を

生活保護の運用改善、生理の貧困 解決迫る！

生活保護制度

生活保護は、最低生活の保障と自立の助長を図ることを目的として、その困窮の程度に応じて、必要な保護を行う制度です。

また、生活保護の申請は国民の権利です。生活保護を必要とする可能性はどなたもあるもので、ためらわずに自治体までご相談ください。

厚労省のHPより

「生活保護は国民の権利」
ホームページに明記を
区議会第2回定例会で、党区議
団は暮らしの支援について一般
質問を行いました。
コロナ危機のもとで、区民生活
が深刻な状況に追い込まれてい
ます。
憲法25条の「生存権」の理念
に基づく生活保護制度は、最後の
セーフティネットともいわれて
いますが、日本では、生活保護は
恥という風潮やバッシングの横
行で、保護率が低いことが問題と
なっています。

「冷蔵庫の買い替えがで
きない」制度の改善を
生活保護を受けている方か
ら「冷蔵庫が故障したが、買い
替えのお金は支給されず、貸し
付けを受けることもできない。
困っている」と相談がよせられ
ました。
生活保護受給世帯の家具什
器費の買い替えについては、
日々の生活費をやりくりして

質問では、生活保護を申請し
やすくするために、①厚労省や
他自治体を参考に「生活保護は
国民の権利、ためらわず相談
を」と区ホームページに明記す
ること、②親族への扶養照会
は、厚労省の事務連絡に基づ
き、扶養照会を拒む申請者の意
向を尊重することを求めまし
た。
区は、「国民の権利」と明記
することについては、頑なに拒
否する姿勢に終始。扶養照会に
ついては「これまでも申請者の
意向を十分に尊重して手続き
を進めてきた」と答弁しまし
た。
困っている保護受給者の生活実
態に心を寄せない、冷たい姿勢を
あらわにしました。
（次ページに続く）

原田あきら都議 2期目も 都議会へ 都議選7/4投票日



五輪は中止しコ
ロナ対策に全力
を！悪政から区
民を守る、原田
あきらを都政に
送りましょう

生理用品の無料配布の

継続「検討する」と答弁

生活困窮やネグレクト（育児放棄）などの理由で、生理用品が買えない「生理の貧困」が世界的に問題になっています。多くの自治体で災害備蓄用の生理用品を活用し、必要な方への配布が始まるなか、杉並区でも無料配布を実施するよう、党区議団も3月に申し入れを行い、4月からくらしのサポートステーション（ウエルファーム杉並内）等で配布が始まりました。

質問では、この取り組みを一過性のもにせず継続すること、また区立施設や小中学校のトイレにも常備することを求めました。区は、「効果的な配布方法や継続的な取組の必要性について検討していく」と前向きな姿勢を示しました。小中学校での対応については、「生理用品が必要な児童・生徒に対して、トイレではなく保健室に常備し適宜配布を行っている」と答弁。

再質問で、保健室での対応だけでは言い出しにくい子どももあり、個室トイレに常備することも検討すべきと求めました。



6月12日新高円寺にて



子どもたちを危険にさらす五輪観戦は中止の決断を

一般質問で、党区議団は新型コロナウイルスの感染拡大が深刻になるもとの、区民のいのちと健康を守る区長として、政府・東京都に対し、東京五輪開催は中止し、新型コロナ対策に集中することを強く求めるべきと迫りました。

区長は、コロナ禍という厳しい状況の中で様々な制約があるが、可能な限り当初の約束をきちんと守るという態度で臨む、と開催の中止を求める考えは示しませんでした。

さらに、東京都が都内の子どもたち81万人を五輪観戦に動員する計画（杉並区内の参加児童数は、計2万1,743人）について、子どもたちの感染や熱中症などが心配されることから、中止すべきと迫りました。区教育委員会は、感染症対策をとって実施する予定としながらも、感染状況等によっては参加を見合わせることもありうる、と答弁しました。



健康の話 熱中症に注意

コロナ禍のモトイカがお過ごしでしょうか。ワクチン接種も徐々に進んできました。杉並区の65歳以上の30%の人は、1回目の接種が終わりました。また、12歳〜64歳の人へも6月末までにクーポン券が発送される予定です。

梅雨に入り、湿度も気温も上がってきました。晴れている日は特に、熱中症予防が大事になります。マスクを着用していると皮膚から熱が逃げにくくなり、体温も上昇します。

熱中症予防のポイントを上げてみます。

- ① 暑さを避けましょう。涼しい服装、日傘や帽子の着用。外にいて少しでも体調が悪くなったら日陰に移動をしましょう。
- ② のどが渇いてなくてもこまめに水分補給をしましょう。1日1.2ℓが目安です。
- ③ 室内では、エアコンを使用しこまめに換気をしましょう。扇風機や換気扇も併用しましょう。
- ④ 暑さにそなえた体づくりをしましょう。日ごろから体調管理をし、定時で体温測定と健康チェックをしましょう。無理のない範囲で、適度に運動をし、ウォーキングは30分程度がいいです。

お困りのことがありましたら、

酒井にご相談ください。

